

SCG069-08

会場:304

時間:5月24日 18:15-18:30

岡山における地震関連大気圏擾乱方位測定 Measurement of pre-seismic atmospheric anomalies in Okayama, Japan

山本 勲¹, 木村 正博^{1*}, 鴨川 仁²

Isao Yamamoto¹, Masahiro Kimura^{1*}, Masashi Kamogawa²

¹岡山理科大学工学部, ²東京学芸大学物理学科

¹Dpt. of Info. Comp. Eng., Okayama Univ., ²Dpt. of Phys., Tokyo Gakugei Univ.

地震発生数日前に、見通し外の送信点から発信されたVHF帯電波が異常伝搬によって受信される現象がある (Fujiwara et al., Geophys. Res. Lett., 2004)。これらは震央の上空において電波の散乱ないしは反射で生じていると考えられている。もしこの現象を、VHF帯電波干渉計で測定すれば、散乱地点の詳細な決定ができると思われる。故に、山本らは、VHF帯電波干渉計を開発し、精度良く電波の到来方位を決定できるようにした (Yamamoto et al., Proc. Jpn. Acad., 2009)。この干渉計を使い、散乱地点の性質を詳しく調べるために、特定のFM放送波について垂直偏波と水平偏波の方位を同時に調べた。この結果をもとに北海道での測定を考える予定である。

キーワード: 地震, 電離圏擾乱, 大気圏擾乱, 電波伝搬, 電波干渉計

Keywords: Earthquake, Ionospheric Anomaly, Atmospheric Anomaly, EM Wave Propagation, Interferometric Measurement